

訪日外国人4年で3倍年2000万人 & ホテル不足—今が追い風

話題の
民泊

「3万円からの民泊投資術」 (WAVE出版)

10月8日 全国の書店にて発売 <http://amzn.to/2dmbNqu>

外国人の訪日者数はこの4年間で3倍に増え、年間2000万人(出典元:首相官邸)。平日の宿泊料が以前は7000円程度だったビジネスホテルが休日前には4倍近くに値上がりしているケースもあります。そんな中、政府は2020年東京五輪の年には4000万人、今の2倍呼び込もうとしています。

増え続ける旅行者に対応するには、既存のホテルだけでは数が足りません。しかし一方で、日本には820万戸もの空き家があり、空き家解消の解決策としても民泊は大きな可能性を秘めています。

民泊は日本の一般の暮らしを外国人旅行者が楽しむことができ、国際交流、異文化交流の場になることから、猛スピードで日本で3万軒以上に広がり、国が制度を整えるため「新法」制定が急がれています。

◆ 3万円からの投資術概要 ◆



本書では、いち早く民泊の魅力に気づき、制度普及のために奔走する民泊協会や空き家が多い富山での民泊事例、2年で200組のゲストを招き入れた若者、新婚さんがマイホームで始めた事例などを取材して民泊最新事情をまとめています。

著者自らも元手3万円で、ホームステイ型民泊に挑戦。

ホームステイ型民泊は、民泊新法の制定によって届け出制だけのできるため、主婦や学生、シニアにもおすすめです。

用意するのは、ゲスト用の布団やまくら、シーツ、ケトルなど。

実際に世界最大の民泊仲介サイトに登録してみると、30分で3組の予約が入り、半年で30組、40万の売上に。

なにより外国人旅行者との交流が楽しめ、空き家の有効活用、地域活性につながります。

巻頭8ページ、漫画を交え、民泊が及ぼす新たな出会い、交流、収入をうみだす術、リスク回避術をわかりやすく紹介。

これまであまり報じられることのなかった新しい民泊の可能性を伝えています。

暮らしのジャーナリスト・ファイナンシャルプランナー 高橋洋子

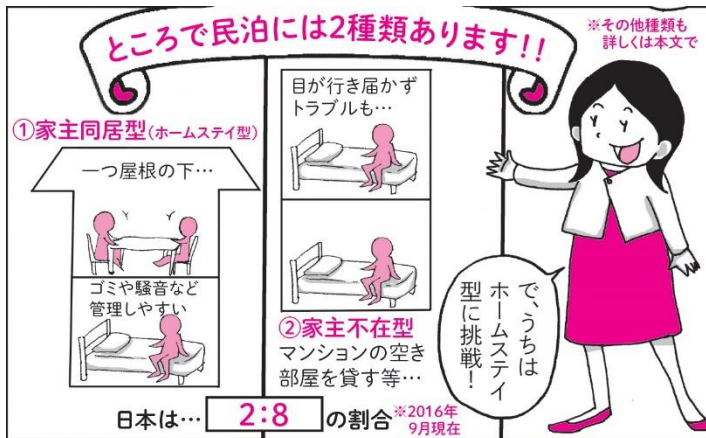
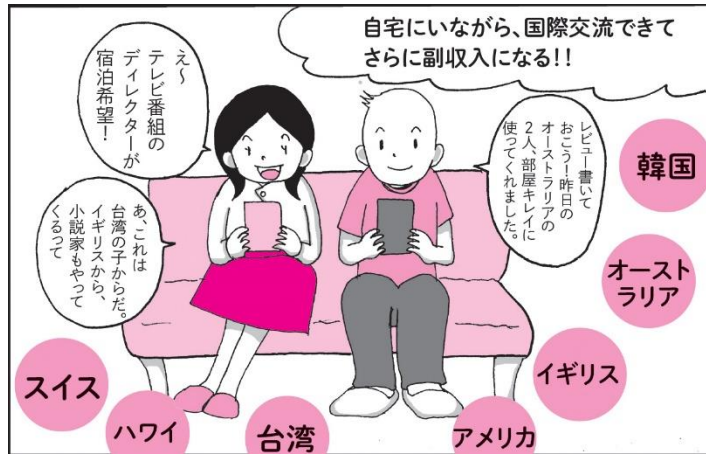


情報誌の編集、フリーライターを経て現職。築37年の空き家をリノベーションし、安くマイホームを購入。その家で話題の民泊に挑戦中。ホームステイ型民泊を始めようと民泊サイトに登録後、30分で3組の予約問い合わせがあり、民泊の大きいなる可能性を実感。

空き家の有効活用の1つとして、民泊の魅力を伝えている。

◆ 提供可能な資料 ◆

※書影、顔写真のほかにも本誌の漫画の一部を提供可



ホームステイ型民泊	VS	賃借(不動産投資)	民泊は(ホームステイ型なら)初期費用に必要な投資額が少ない
宿泊料 月5万 元本3万	収入 元本 (初期費用)	家賃 月5万 元本 300万	
利回り2000%!? 春休みは3倍 月15万 になるケースも	利回り 繁忙期 なら!	利回り20% 家賃は一定 5万 なら 5万	

データはこちらからダウンロード可能⇒<http://xfs.jp/jDDyD>



暮らしのジャーナリスト・ファイナンシャルプランナー 高橋洋子

情報誌の編集、フリーライターを経て現職。築37年の空き家をリノベーションし、安くマイホームを購入。その家で話題の民泊に挑戦中。ホームステイ型民泊を始めようと民泊サイトに登録後、30分で3組の予約問い合わせがあり、民泊の大いなる可能性を実感。空き家の有効活用の1つとして、民泊の魅力を伝えている。